

6th 若手教師パワーアップセミナー

「元気が一番」塾 夏季セミナー in 神戸

日 時 2010 年（平成 22 年）8 月 7 日（土） 10:00～17:00（受付 9:30～）

場 所 兵庫県民会館 3F（303） 神戸市中央区下山手通 4-16-3 TEL078-321-2131

日 程 10:00～10:10 開会挨拶 16:15～17:00 質疑応答、閉会挨拶

★10:10～11:40 第①講

「子ども」と「本」と「学び」をつなぐ ～こんな時こんな本を～

ゲスト講師 曲里 由喜子（帝塚山学院大学非常勤講師）

★13:00～14:30 第②講

子どもたちにどう向きあうか ～ディズニーから学ぶ“ぬくもり”～

ゲスト講師 大路 亨（元小学校長）

★14:45～16:15 第③講

学級づくりABC ～ちょっとしたワザワザが子どもの心を動かす～

講師 仲島 正教（「元気が一番」主宰）

【講師紹介】

・大路 亨

（おおじとおる）

元 兵庫県西宮市立小学校長。西宮市教育委員会学校保健課長等歴任。

校長時代「ぬくもり」を学校教育目標に掲げ、教師・子ども・保護者・地域を温かくつなぐ学校経営を行う。「人は自分を大切にしてくれる所に戻ってくる」というディズニーの精神を生かした教育を実践。どんなやんちゃな子も大路先生を慕い、あいさつをし、踏みつけていた靴のかかとを踏まなくなっていく。

・曲里由喜子

（まがりゆきこ）

現 帝塚山学院大学、奈良教育大学 非常勤講師。元 西宮市立小学校教諭・司書

教諭。曲里先生の学校では、読書週間が読書習慣に変わっていき、本の貸し出し数は倍増。本なんか嫌いという子どもが本を読み始めるのである。「はじめはガサガサしていた子でも、毎日続けていくと次第に耳を傾け、目を輝かせてくる」 曲里先生の聞かせ読みは、魔法の声である。

・仲島 正教

（なかじままさのり）

現 若手教師パワーアップセミナー「元気が一番」塾主宰、聖和短期大学非常勤

講師。元 西宮市立小学校教諭（21 年間）西宮市教育委員会指導主事（5 年間）。2005 年 3 月に 48 歳で退職し、その後、教育サポーターとして、全国各地で講演や研修を行っている。「教師の仕事はしんどいけど楽しいもの」「教師は、子どもの未来への応援団」そんなメッセージを伝えたいと思っている。

子どもと本と学びをつなぐ～こんな時こんな本を～

曲里 由喜子

1 はじめに

☆「ポケットの話」が原点

- ・2010年は国際読書年
- ・新学習指導要領と学校図書館
- ・「学校図書館」の基本的な考え方 資料①

2 子どもの心とことばを育む読書力・・・温もりのある空間

美しい言葉のシャワー＝読書力

- ・知らず知らずにつく力＝絵本のもつパワー＝言葉の種をまく
- ・「行って帰る」型（パッピー—エンド）の物語をたっぷり
- ・読み手と聞き手の心のふれあい・・・読書力
- ・読み聞かせ、聞かせ読み、アルマシオン、ブックトーク 資料②
- ・文字が読めても本は読めない子どもたち
- ・読書学習・・・みんなで読もう学級読書会
- ・読書ノートを活用・・・「すてきなことばをあつめよう」資料③
- ・読書週間から読書習慣へ・・・家庭読書

3 子どもを本と学びをつなぐ・・・タイムリーにつながる心と心

こんな時こんな本を

① 保護者会や学年懇談会などで保護者に向けて

- ・おこだでませんように ・しゅくだい ・おおきくなるっていうことは
- ・っぼい ・ちょっとだけ ・ラブ・フォーエバー

② 新年度がスタートした時に子どもたちに向けて

- ・教室はまちがうところだ ・ぼちぼちいこか ・だいじょうぶだいじょうぶ
- ・よーいどんけついつとうしょう ・エルマーのぼうけん ・じっぼ
- ・ルドルフとイッパイアッテナ ・さらば、猫の手 ・びりっかすの神さま
- ・竜退治の騎士になる方法

③ 友だちっていいなあ。そんな時・・・心のふれあいをえがいた物語を

- ・そっといちどだけ ・ともだちや ・きずだらけのリンゴ ・こぎつねのおねがい
- ・どんなにきみがすきだかあててごらん ・おまえうまそうだな ・しろいうさぎとくろいうさぎ
- ・ふたりはともだち ・火曜日のごちそうはヒキガエル
- ・あらしのよるに・わたしのせいじゃない・オオカミグーのはずかしいひみつ

④ 人権学習に絵本を活用・・・思いやりの心、友だち・命の大切さ

- ・さっちゃんのまほうのて ・お母さんの手だいすき ・いのちは見えるよ
- ・カエル ・いのちのおはなし ・つながってる！ ・葉っぱのフレディ
- ・わすれられないおくりもの ・100万回生きたねこ ・チャーリーブラウンのなぜなんだい？ ・かつくん ・ごめんねともだち ・わざとじゃないもん
- ・グースにあった日 ・ほんとのこと言ってもいいの ・だめだめネコはこまったぞう
- ・オオカミのともだち ・たからものくらべ ・でんでんむしの悲しみ

『 子どもたちに向き合うか? 』

～ディズニーから学ぶ“ぬくもり”～

大 路 亨

□ 「おや、どうなさいましたか?」の声かけ

・・・定点観測のススメ

同じ時刻に、同じ場所で、同じものを・・・
何かが見えてくる。

□ 「自分を大切にしてくれるところに戻ってくる」

・・・少し“ゆっくり”したい

あせれば、自分もまわりも見えなくなる。

□ 「人を引き留めるのは、人でしかない」

・・・何を「柱」とするのか

「柱」があれば自然と落ち着く。

□ 「キャストはみんな、ディズニーが大好きなんです」

・・・人を本当に「好き」になること

本当に好きになれば、気持ちが伝わる。

□ 企業は本気です

・・・「おもてなし」の心得

子どもたちへの対応のヒントがある。

【出来るか出来ないかではなく、するかしないか】

学級づくりABC～ちょっとしたワザワザが子どもの心を動かす～

仲島 正教

(www2.bbweb-arena.com/naka602)

1. 学級づくりで大切にしていること

- ・一番厳しい状況の子が生き生きする学級に 明日も来たいそんな教室
- ・個を生かすとは 一人ひとりの自尊感情を育てること
- ・優しい人に育てたい 本当の優しさとはどういうことか
- ・支え合う仲間を育てたい 私たち教師の誇りは、人間を育てていること
- ・学級づくりで悩んだ時は とにかく子どもと遊ぶ 先輩と飲む
- ・教師の役目、教師の姿勢とは 子どもの未来への応援団
- ・子ども理解から始まり、子ども理解に終わる 記憶ではなく記録として残していく

2. 「仲よし」をどう教えるか

- ・道徳の時間だけでは気づかない 具体的な行動から学んでいくもの
- ・「出会い」をつくる 生活の中にはそんな場面がたくさんある 給食、運動会等
- ・「気づき」の点を打ち、それをつなぐこと 点と点を結べば線になる 「点と線」理論
- ・「広げる」には、学級目標や学級通信を生かす 個人そして学級の自尊感情が高まる
- ・自分に気づく、友だちに気づく、学級に気づく 「気づき」は、やがて「築き」になる

3. 保護者との連携を大切に

- ・学校と家庭がつながることによって子どもは育つ 保護者対応ではなく保護者連携
- ・連絡帳の活用 連絡帳は連絡ノートではなく、家庭との交換日記 時にはユーモアも
- ・学級通信の効用 学級の様子がわかると保護者は安心する 親も楽しみな学級通信に
- ・5分間家庭訪問の実施 たった5分されど5分 このワザワザが信頼を生み元気になる

4. 授業を通しての学級づくり

- ・授業研究は教師の命 授業のうまい先生は学級づくりもうまくなる
- ・授業の中で子ども同士をつなぐ 支え合う算数で子どもは成長する
- ・あの子のための授業を創る あの子を生かすことによって全体も生かされる
- ・教えるとは 指導の半分は待つこと、あとの半分は子どもの中へ飛び込むこと
- ・最後の授業「卒業試験」 あなたがいてよかった あなたといてよかった

5. 教師の仕事は、しんどいけど楽しいもの

- ・教師の仕事は基準を10としたら、8でもやっていけるし、12でもやっていける仕事。でも-2の時は-2が子どもから返ってくるし、+2の時は+2が子どもから返ってくる。そんな鏡のような仕事である。どうせやるなら+2の感動を味わいたいもの。その「ワザワザ」にこそ、教師のやりがいと子どもたちの笑顔が待っているのです。